

計測制御分野で最新のシステムを提供する

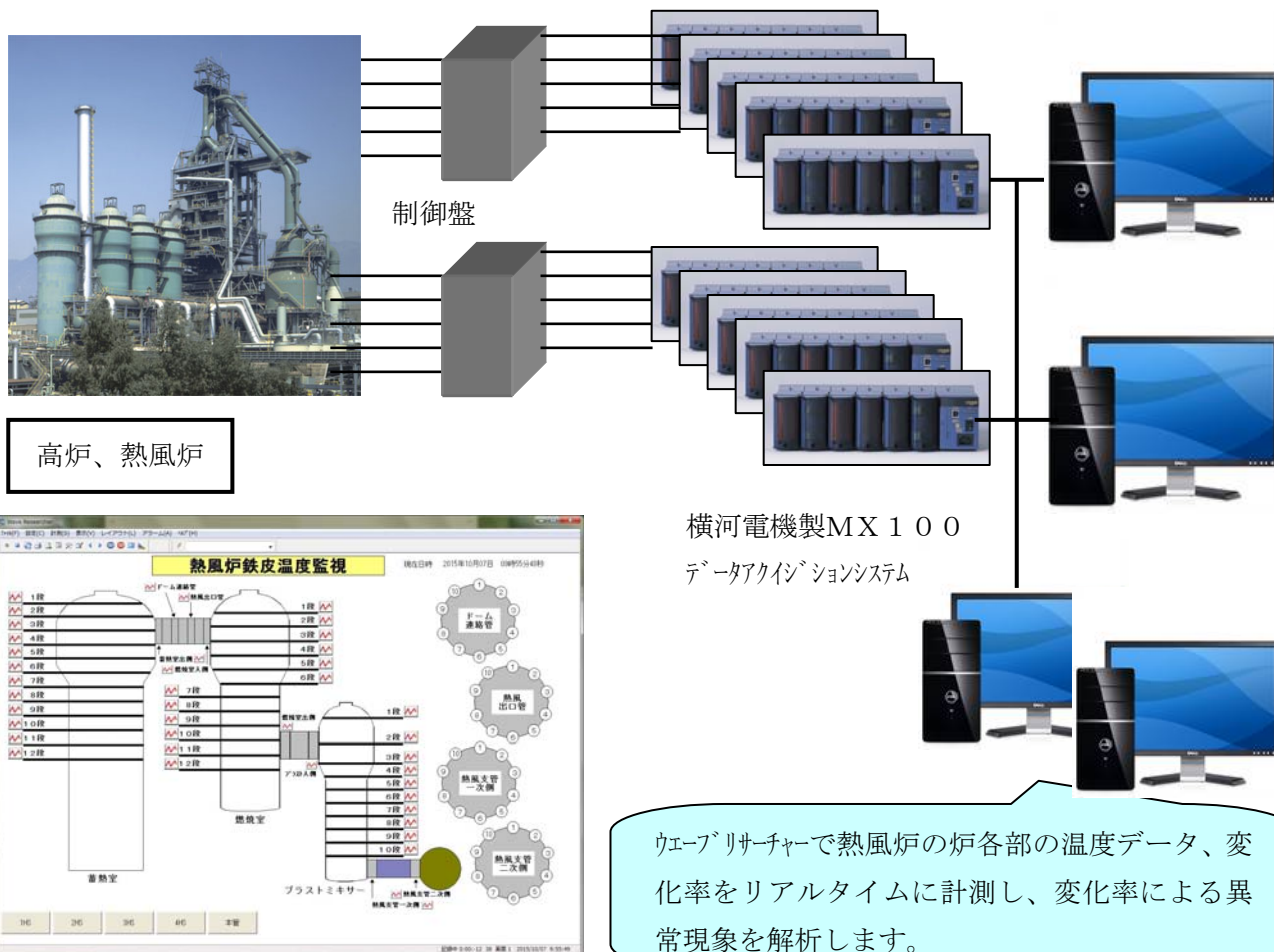
ハビリス納入事例紹介

高炉熱風炉鉄皮温度監視システム

高炉の操業を支える重要な設備である熱風炉の監視・補修は大切な作業であり、装置の温度監視は操業制御システムでも常時行なっておりますが、高炉の稼動年数、操業形態により変化する炉材等、装置各部の損傷状態を常時詳細し、操業に影響が出ないように把握することは重要な作業です。

当事例は熱風炉を構成する各装置の多数の温度を5秒間隔で常時監視する目的で使用されており、2台のネットワークパソコンに機能強化を行った「ウェブリサーチャー」と横河電機㈱のデータアクリジションシステム「MX100」を使用して、熱風炉各部の温度データ（炉本体温度、蓄熱室温度、熱本管、支管温度等）の温度の変化率をリアルタイム演算し、異常が発生する予兆解析を行ないます。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、製鉄所の高炉を構成する重要な装置である熱風炉の温度データ収集、監視を目的としており、装置の異常が高炉の操業停止に直結することから、操業制御システムでは把握できない多数の温度データを「MX100」からリアルタイムに測定・監視を行うとともに、最大10日間の各部の温度変化をリアルタイムに計算して高炉の操業停止に繋がるような異常状態の予兆の解析に役立つ情報を提供します。

①測定データ：熱風炉4基、最大測定点数：2400点（MX100、40台）

②計測用パソコン2台、ネットワークサーバ、監視用クライアントパソコン

(2)主な処理内容と「ウエブリサーチャー」の改造点について

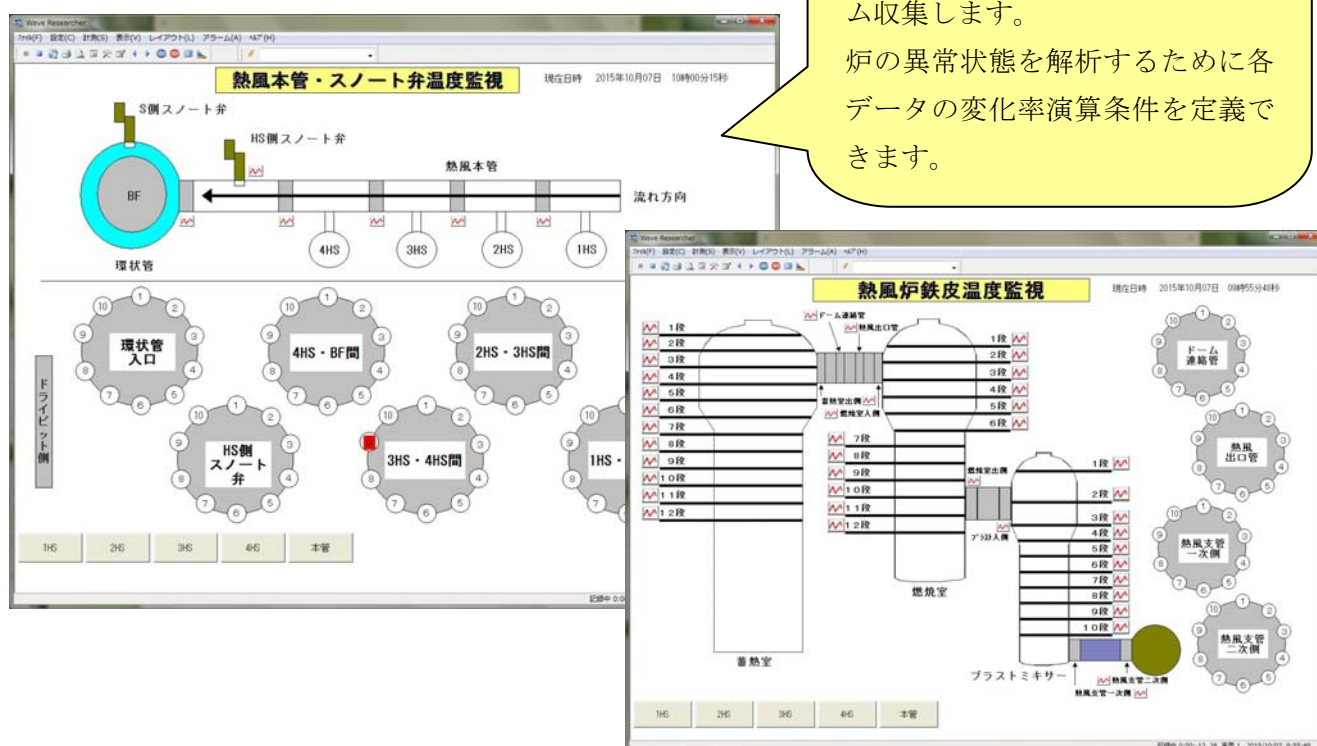
多数の熱風炉のデータ収集・監視に関しては「ウエブリサーチャー」の基本機能で可能です。

熱風炉各部の温度値のグラフィック表示、トレンドグラフ表示等。

①リアルタイムに5秒間隔、最大10日間の各部温度データの変化率を計算し4段階のアラームを発報、操業制御システムに警報接点を送信します。

②MX100による最大2400点の計測機能。

(画面表示例)



「ウエブリサーチャー」採用のメリット：

操業制御システムを改修して、熱風炉の多数の温度データを収集・監視するには多大の費用と手間が必要です。

「ウエブリサーチャー」は簡単な操作で使用でき、現場の方にも好評です。

お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285